



[THE 飯茶碗]

最も人の手に沿いやすく持ちやすい形状を追求した飯茶碗です。口径は12cm。これは標準的な大きさの日本人の両手で人差し指と親指を使い、円をつくったときの直径と同じです。

高さは半分の6cm。人差し指と親指の長さの比率はちょうど2:1とされ、手の向きをどの角度に変えてもこの比率は変わりません。つまり、この比率が

碗と手のベストな関係であると導き出したのです。

この全く同じ形状の茶碗を、5つの産地で

製造しました。土、釉薬、仕上げなど、

産地それぞれの特長を活かして仕上げています。

産地ごとに揃えたり、産地違いで集めたりと、

5つの表情を自由に楽しんでいただける飯茶碗です。

有田/清水/信楽/瀬戸/益子 各2,300円(+税)

